

經濟論叢

第七十二卷 第一號

| | | |
|--------------------|---------|-------|
| 貿易金融と爲替問題 | 松 井 清 | (1) |
| 人間關係論をめぐる一考察 | 降 旗 武 彦 | (17) |
| 絶對主義への道 | 角 山 榮 | (37) |
| フォルボネとケネー | 菱 山 泉 | (55) |
| 日本鐵鋼業の市場構造 | 中 村 忠 一 | (77) |
| 實業同志會の結黨 | 市 原 亮 平 | (100) |

[昭和二十八年七月]

京都大學經濟學會

京都大學經濟學會役員 (五十音順)

評議員長
評議員

(編集委員)

(研究委員)

(編輯委員)

(會計委員)

青 阿 大 大 岸 岸 木 佐 靜 島 島 田 田 田 出 中 平 藤 藤 藤 藤 藤
 山 部 橋 野 本 本 原 波 田 津 杉 中 崎 谷 井 旗 積 江 川 井
 文 秀 利 隆 英 宣 恭 亮 眞 勇 俊 武 英 保 嘉
 夫 統 良 憲 二 郎 郎 雄 平 均 二 彦 競 晴 藏 稔 實 彦 彦 一 蒙 一 考
 一 考

既 刊 目 次

第七十一卷 第四號

四月一日發行
定價 六〇円

山村の經濟構造と財政…………… 島 恭彦

資金面から見た日本鐵鋼業の再編成過程…………… 渡邊敬司

戦後の財政・金融政策と關連して…………… 小野 一郎

我が國中央銀行行政策史の一齣…………… 小野 一郎

—金融禁を中心として—

第七十一卷 第五號

五月一日發行
定價 六〇円

計畫經濟の諸問題…………… 木原正雄

—ソ同盟における企業の計畫化(一)—

シユンペーターの資本主義論…………… 鎌倉 昇

資本の絶對的過剰生産について…………… 吉 信 肅

第七十一卷 第六號

六月一日發行
定價 六〇円

社會政策定義考…………… 岩本英太郎

勞働組合組織に關する一考察…………… 前川嘉一

日本社會政策史の分析視角…………… 向井喜典

「福社國家」とイギリス勞働者階級の窮乏化…………… 星 島 一 夫

『同志會』の結黨以後の諸活動や、大衆内閣の第六十議會解散後、事實上の解黨を行わねばならぬなかの諸問題
 は、本稿の枠外にある。ただこゝで指摘し得ることは、「自らを代表することはできない、かれらは代表してもら
 なねばならない」商工業中間層が、金融資本と決定的に對立するにいたり、ついに自らの階級の運命を絶對主義的
 反動軍部に委ね、紡績大資本もまた軍部と野合しその驥尾に附さねばならなかつたというものであり、さらにその
 原因もまた商工黨『實業同志會』が大日本實業組合連合會からひきついで結黨當初にもつた諸矛盾のうちに探しあ
 てることのできる、という一事である。

(一九五二年八月二日稿了)

執筆者紹介

松井清

京都大學教授

降旗武彦

京都大學講師

角山榮

和歌山大學助教授

菱山泉

京都大學大学院研奨生

中村忠一

甲南大學講師

市原亮平

京都大學大学院學生

高橋正雄

經濟學入門

B6二八〇頁
定價二六〇円

ハロツド著 高橋正雄訳 鈴木大輔一編

動態經濟學序説

B6二四〇頁
定價三〇〇円

日本人文科學會

社會的緊張の研究

A5五〇二頁
定價五六〇円

中村吉治

日本社會史

A5四一六頁
定價五〇〇円

磯村英一

都市社會學

A5四一八頁
定價五六〇円

岩崎武雄

西洋哲學史

B6三五八頁
定價三八〇円

池上嶽三

哲學概論

B6三六〇頁
定價三七〇円

中村克己

論理學・科學方法論

B6三三八頁
定價三二〇円

梯明秀

資本論の辯證法的根據

B6三一四頁
定價三二〇円

林健太郎

史學概論

B6二五八頁
定價二六〇円

(教養全書)

會位員
各位へ
おめでとうございます、この機會に會費を匯納入下さいませ。

一、會費納入先
京都府左京區吉田本町
京都大學經濟學部内

京都大學經濟學會

振替口座大阪五〇五三九番

一、會費年額 八〇〇圓(前納)

一、會員各位の本籍、現住所、氏名、出身高校名、卒業年次、就職先を學會まで御通知下さい。

一、會員外の雜誌購入は有斐閣へお申込下さい。

昭和二十八年六月二十五日 印刷 定價 一三〇円
昭和二十八年七月一日 發行 會員定價 一〇〇円

編集兼 發行人 前田昇三
京都市中區千本通二條上ル

印刷所 株式會社 玉文堂
由良伊之助

發行所 京都大學經濟學會
京都市左京區吉田本町

發賣所 株式會社 有斐閣
振替口座大阪 五〇五三九番

本社 東京 都千代田區神田
神保町二丁目十七番地
京都支店 京都市左京區北白川
藤學部電停前

Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 72, No. 1

July, 1953

- On Foreign Exchange *K. Matsui*
- An Appraisal of Human Relations Approach *T. Furihata*
- G. Fortescue and the making of the Tudor
Absolutism *S. Tunoyama*
- Forbonnais and Quesnay *I. Hishiyama*
- Subjugation of the Iron and Steel Industry to
American Capitalism in Post War Japan *T. Nakamura*
- Formation of the Party "Jitsugyo - doshikai" *R. Ichihara*
-

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)